

## はじめに

令和2年1月に国内初の新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されて以後、感染は急激に拡大し、感染拡大防止のために行われた店舗等の休業・営業時間短縮要請や不要不急の外出自粛等で人流が抑制された結果、経済活動は停滞し、閉店や廃業を余儀なくされる事業者が増加しました。

本市においても例外ではなく、事業者の撤退や廃業に伴う空き店舗も散見されるようになる一方、従来ならば、すぐに埋まってしまうような物件においても、新規の出店が控えられ、市内の空き店舗数は増加傾向にありました。

商店会としても、感染拡大防止のために休業や営業時間短縮、イベントの自粛等により、活気が失われつつある状況でした。

市では、コロナ禍の緊急経済対策の一つとして、上記のような課題を踏まえ、まちのシャッター街化の防止と商店会の活性化に寄与する事業者を応援することを目的に、令和2年度に商店会活性出店支援金事業を開始しました。

まちのシャッター街化の防止＝空き店舗対策事業は、商圈人口が減少しているような都市では見受けられる事業ですが、都心部では比較的珍しい事業であり、本市においても初の試みでした。

また、商店会の課題の一つとして、「商店会への未加入店舗の増加」がありますが、本事業はその抑止の役割も果たしています。武蔵野市産業振興条例では、商店会の加入を規定しているものの、あくまで努力義務に過ぎないため、商店会の加入へのインセンティブとして作用する本事業は間接的に商店会への支援策にもなっています。

本報告書は、令和2年度及び令和3年度に実施した商店会活性出店支援金事業の記録※となっています。また、本事業は、継続的な事業ではないため、年度ごとに実施判断をしていますが、本報告書はその判断材料の一つとなることを目的として作成されたものです。

構成内容は、①事業の経緯、②事業の評価・分析、③商店会アンケート、④付録(配布用チラシや申請要領等)、⑤事業者インタビューからなりますが、令和2年度の記録・分析については、令和3年度に実施した令和2年度緊急経済対策の効果検証(「令和2年度緊急経済対策効果検証等結果報告書」)から抜粋して記載をしています。

本報告書に記載している分析結果や事業者インタビュー、商店会アンケートの結果は、これまで市が実施してきた通常時の事業ではなかなか見えてこなかった一面を浮き彫りにしたといえます。本報告書がコロナ禍のみならず、今後、来るべきアフターコロナの事業者支援を考える上でもヒントとなれば良いと考えます。

※本事業は、出店時と、出店時から6ヶ月継続した時に2回支援金を申請できる制度のため、令和3年度については、次年度に申請となる6ヶ月継続時の申請件数等は未記載。



# 目次

I	事業の経緯	1
II	事業の評価・分析	3
II-1	令和3年度評価シート	4
II-2	令和3年度事業分析	5
II-3	令和2年度評価シート	9
II-4	令和2年度事業分析	10
II-5	『令和2年度緊急経済対策効果検証等結果報告書』事業者アンケート結果	15
III	商店会アンケート	21
III-1	商店会アンケート結果	22
IV	付録	25
IV-1	令和3年度（配布用チラシ、申請要領、要綱）	27
IV-2	令和2年度（配布用チラシ、申請要領、要綱）	51
<b>（別冊） 事業者インタビュー</b>		
	佐々木景デザイン事務所／111 THR 丰 ONE スリーワン	グラフィックデザイン・小売業
	HYPERION DANCE STUDIO	ダンススクール
	公苑前のオフィス	ワーキングカフェ・サテライトオフィス
	アイクリニック吉祥寺	病院
	Aman hair-e	美容院
	Mai Transit	小売業
	callas pain	パン屋
	ニンカフェ	飲食店
	Cafe Bar ひととてま	飲食店
	Bistoro ideal&欧風カレーイナバ	飲食店